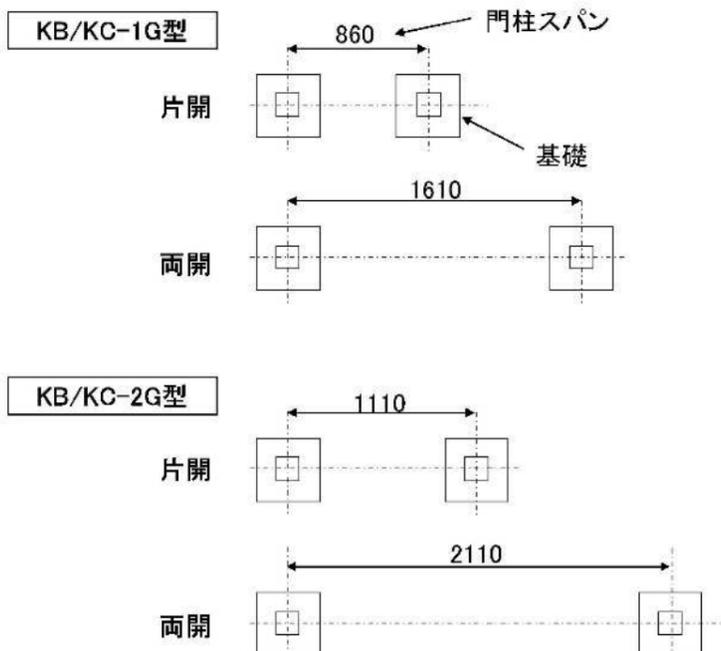


角パイプフェンス門扉 KB-G型 (KC-G型)

組立説明書

① 基礎の設置と門柱の建てかた

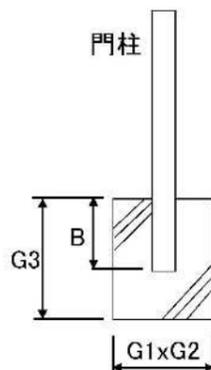
門柱の位置を決め、基礎を設置します。
1G型と2G型では門柱スパンが異なるのでご注意ください



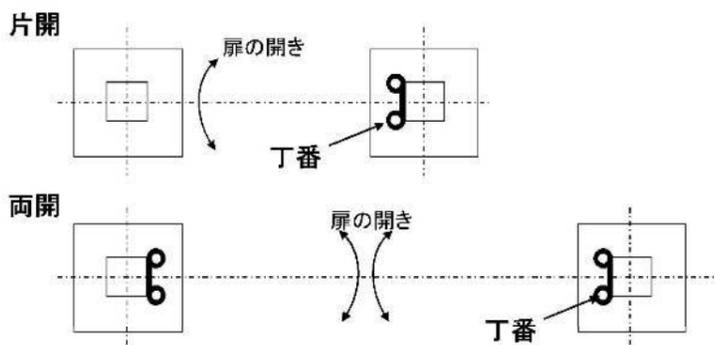
基礎寸法、門柱の埋め込み深さは下表のとおりです

基礎寸法と門柱埋め込み深さ

	基礎寸法 G1xG2xG3	埋め込み深さ B(mm)
H 900	250x250x500	300
H1200	250x250x500	350
H1500	300x300x600	400
H1800	300x300x600	450

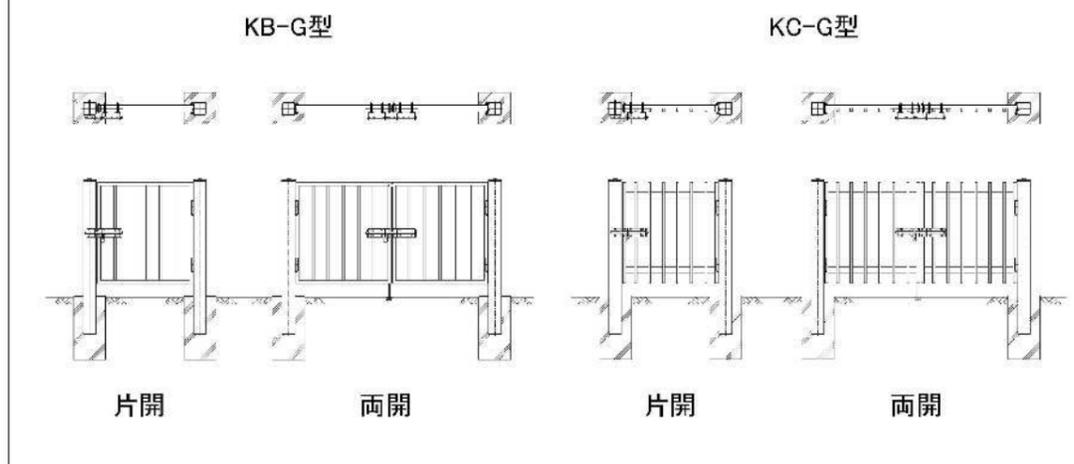


門柱の向きは丁番が扉側に向くように



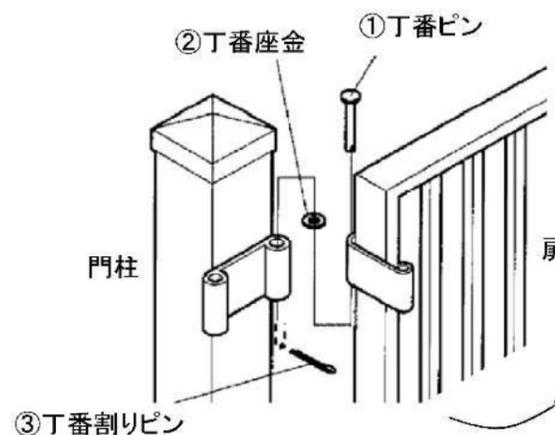
※内、外の開きは現地で決めることができます

姿図

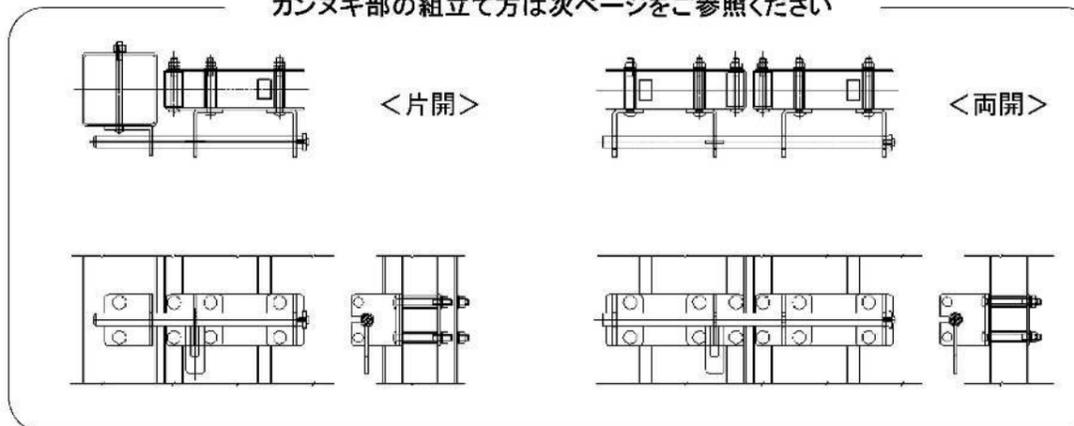


② 扉を門柱に取り付けます

扉の開く側の丁番に丁番ピンを挿入して扉を吊ります

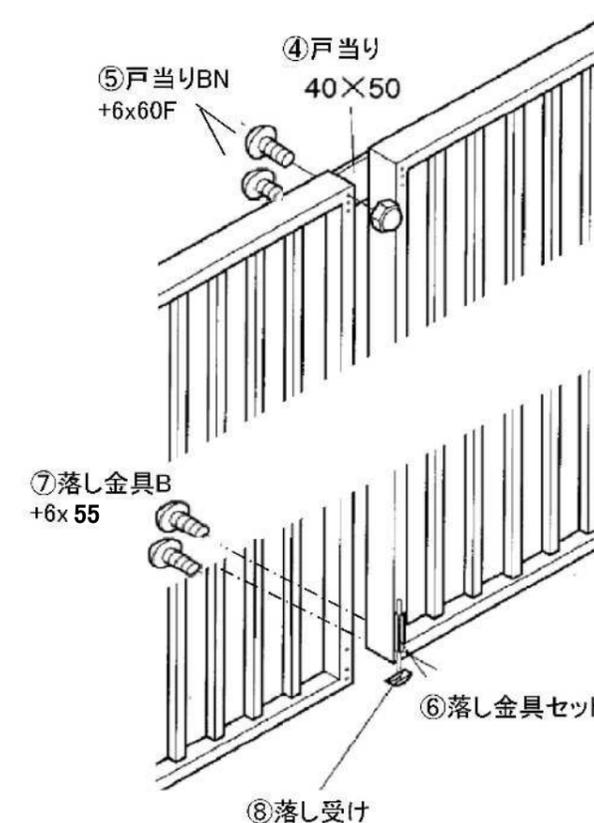


カンヌキ部の組立て方は次ページをご参照ください

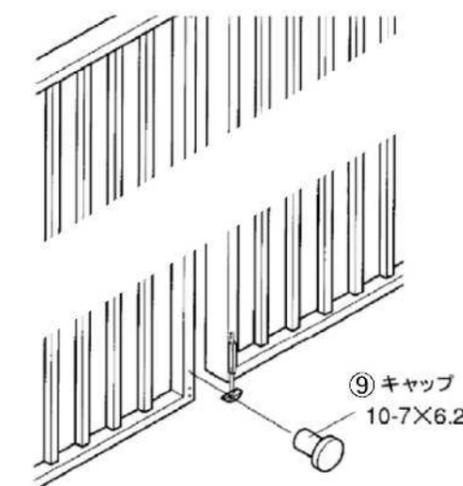


③ 戸当りと落とし金具を取り付けます (両開)

両開扉の常時開く側の扉に戸当りを取り付けます



落とし金具、戸当りを取り付けた後、扉本体に不要な孔をキャップで埋めます

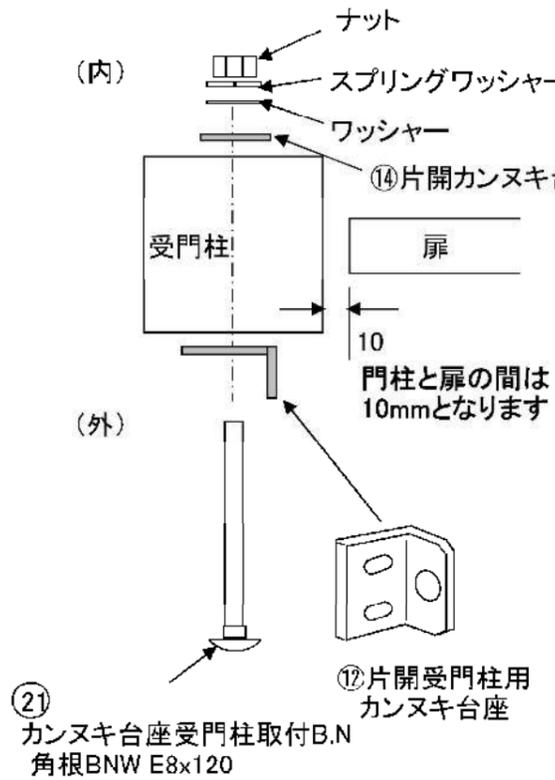


角パイプフェンス門扉 KB-G型 (KC-G型)

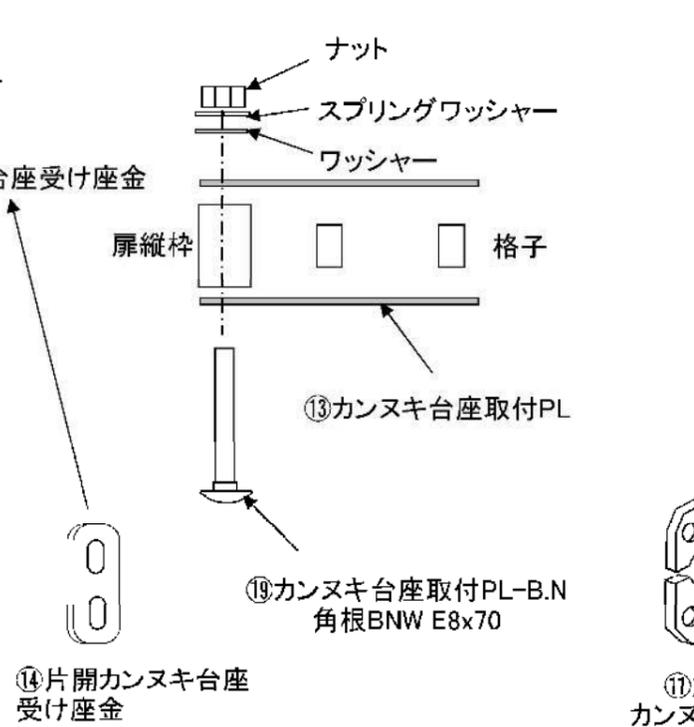
組立説明書

本図は片開、外カンヌキを中心に説明しております

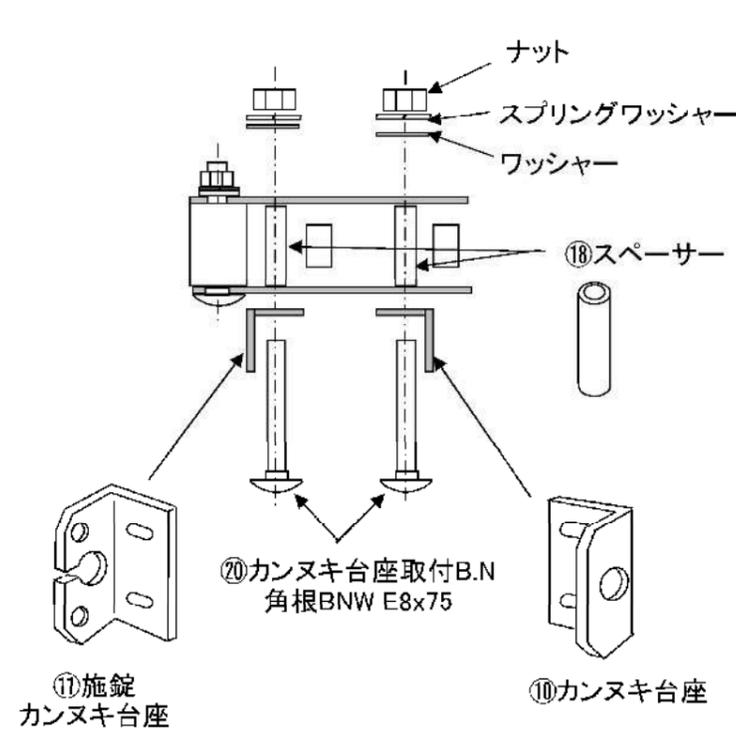
①受門柱へのカンヌキ受けの取付



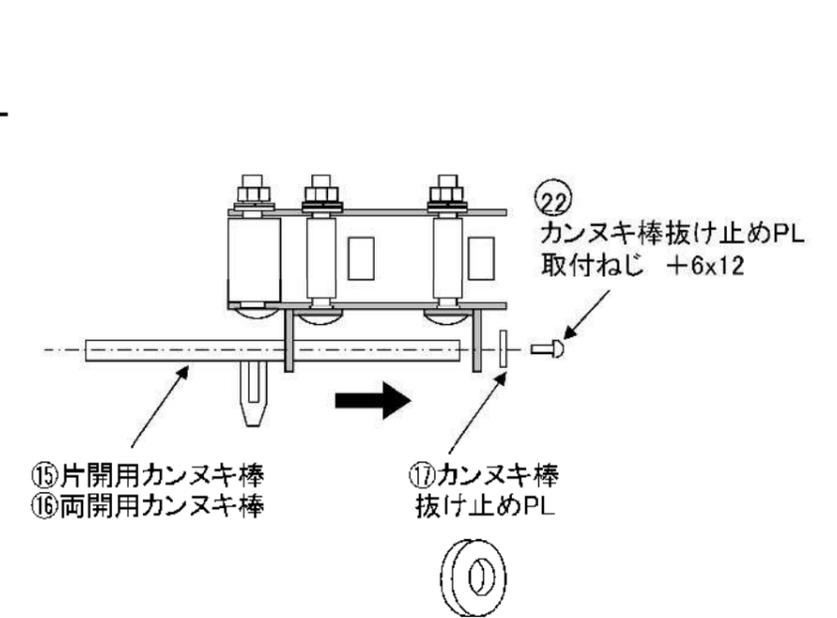
②扉縦枠へのカンヌキ台座取付PLの取付



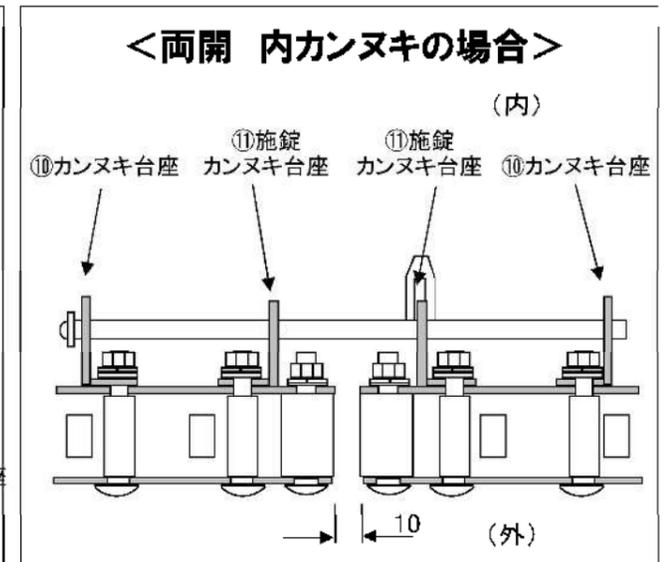
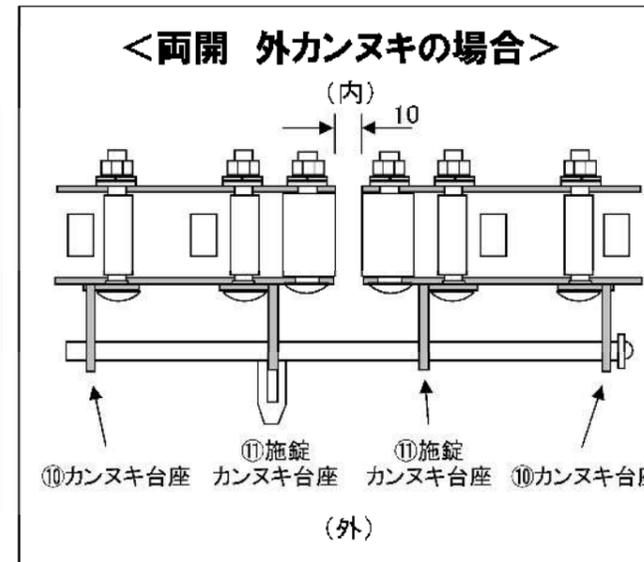
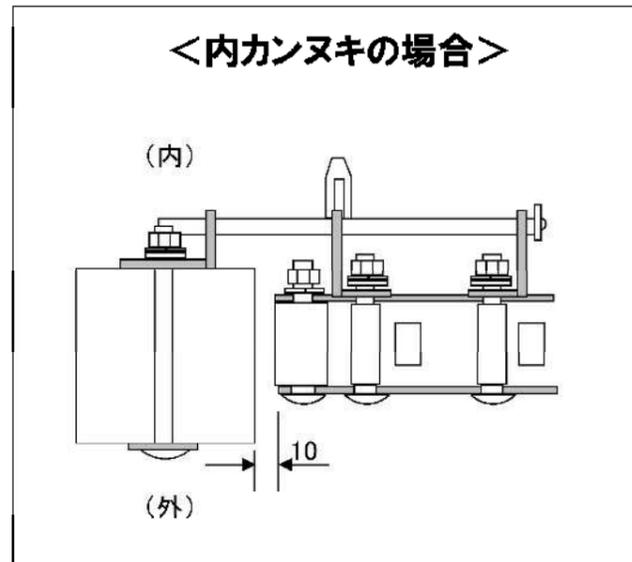
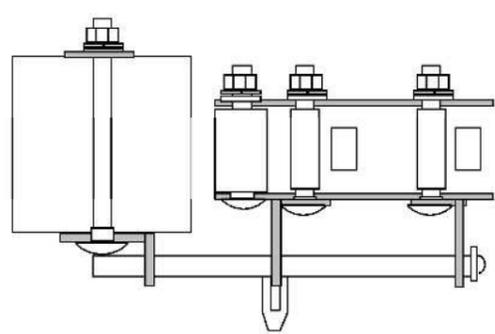
③カンヌキ台座の取付



④カンヌキ棒の取付



⑤完成

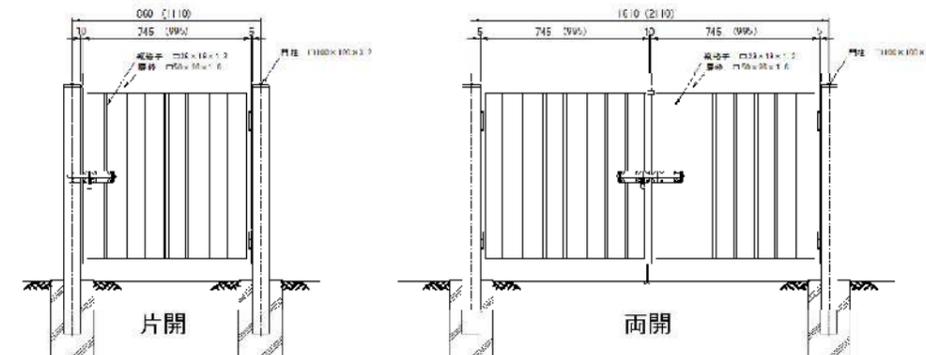


部品数量表

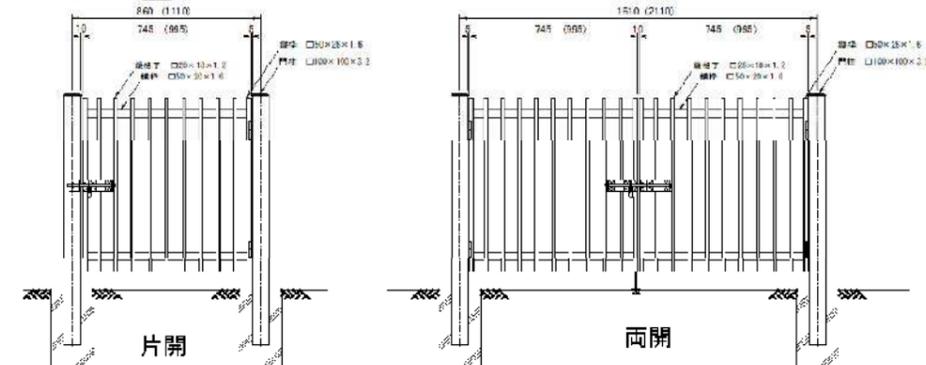
角パイプフェンス門扉 KB-G型 (KC-G型)

品名	寸法・記号	形状	数量	
			片開部品セット	両開部品セット
① 丁番ピン	12x118		2	4
② 丁番座金	12x2.5		2	4
③ 丁番割リピン	3x20		2	4
④ 戸当り	40x50		-	1
⑤ 戸当りB.N	+6x60F		-	2
⑥ 落とし金具セット	10x275		-	1
⑦ 落とし金具B.	+6 x 55		-	2
⑧ 落とし受	50x30x22		-	1
⑨ キャップ	10-7x6.2		12	20
⑩ カンヌキ台座	40x65x70x4.5C		1	2
⑪ 施錠カンヌキ台座	40x65x70x4.5C		1	2
⑫ 片開受門柱用カンヌキ台座	40x65x70x4.5C		1	-
⑬ カンヌキ台座取付PL	70x185x2.3C		2	4
⑭ 片開カンヌキ台座受け座金	75x21x2.3C		1	-
⑮ 片開用カンヌキ棒	16x280		1	-
⑯ 両開用カンヌキ棒	16x385		-	1
⑰ カンヌキ棒抜け止めPL	25x4.5		1	1
⑱ スペース	15.9x1.6x50		4	8
⑲ カンヌキ台座取付PL-B.N	E8x70C		2	4
⑳ カンヌキ台座取付B.N	E8x75C		4	8
㉑ カンヌキ台座受門柱取付B.N	E8x120C		2	-
㉒ カンヌキ棒抜け止めPL取付ねじ	+6x12		1	1

KB-1G-2G型 ()内寸法は2G型



KC-1G-2G型 ()内寸法は2G型


注意

●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がった埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

●取扱い注意点

- ①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。